2－7　港湾消防

東京の海の玄関である東京湾は、首都圏4,000 万人の生活と産業を支える物流拠点として、その重要性はますます高まっており、港湾施設の拡充が進められるとともに、臨海副都心の整備など大規模な開発が行われています。

この地域は、海上輸送の総合的な物流拠点であるほか、増大するクルーズ人口に対応した新客船ふ頭の整備が計画されるなど、今後大きく変貌していきます。また、観光や水辺のレクリエーションを通じたにぎわいの創出により、魅力ある水際の都市空間としても変化しています。

さらに今後は東京２０２０オリンピック・パラリンピック競技大会の開催を控え、周辺地域のさらなる開発や入港船舶需要の増加が見込まれます。

このような状況の中、当庁では、将来的な臨海副都心の市街地化の進展や、行政需要に合わせた消防署等の整備を計画しています。

写真 58　航行する消防艇みやこどり